

入試・広報課Instagramの運営開始から、まもなく1年を迎えます。たくさんの先生方や学生の皆さんにご協力いただき、大学の日常やイベント情報などを発信してきました。ご協力くださった皆様、ありがとうございます。これまでの投稿の中から、特に閲覧数が多かったものを紹介します。

(入試・広報課 正原那紗)

まもなく1年 入試・広報課インスタ

ただ今 発信中

大学の日常風景、
イベント情報 etc.

授業紹介



15以上の授業を撮影し、学生の皆さんの真剣な表情と授業の内容を紹介。演習や発表会、座学など様々な場面にお邪魔させていただきました。

交換研修生

タイ・コンケン大学から来た交換研修生たちとの「さよならパーティー」の様子や滞在期間に体験した知育菓子作り中の写真を公開しています。

入試・広報課Instagramの運営開始から、まもなく1年を迎えます。たくさんの先生方や学生の皆さんにご協力いただき、大学の日常やイベント情報などを発信してきました。ご協力くださった皆様、ありがとうございます。これまでの投稿の中から、特に閲覧数が多かったものを紹介します。

(入試・広報課 正原那紗)

まもなく1年 入試・広報課インスタ

ただ今 発信中

大学の日常風景、
イベント情報 etc.

授業紹介



15以上の授業を撮影し、学生の皆さんの真剣な表情と授業の内容を紹介。演習や発表会、座学など様々な場面にお邪魔させていただきました。

交換研修生

タイ・コンケン大学から来た交換研修生たちとの「さよならパーティー」の様子や滞在期間に体験した知育菓子作り中の写真を公開しています。



オープンキャンパス

7月と8月に開催したオープンキャンパスの様子はビックアップ。本学ならではの体験や来場者の皆さんの楽しそうな表情だけでなく、学生たちが一生懸命にもてなしている状況を切り取っています。



リハビリのお仕事

高森高校マンガ学科が制作したマンガ「リハビリのお仕事」を2回に分けて公開。PT、OT、STの役割を楽しみながら知ることができると好評です。



理学療法学専攻でもスタート

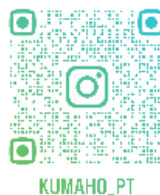
リハ学科3専攻のインスタ出そろう

リハビリテーション学科理学療法学専攻（PT）では昨年12月、Instagramの運用を開始しました。同専攻におけるさまざまな活動や情報の発信を通し、高校生や保護者、高校関係者に本学の魅力を伝える場とするつもりです。これで、同学科の3専攻全てのInstagramが出そろいました。

更新は、若手を中心に教員間で協力して担当。週1回程度のペースで情報発信を続ける予定です。これまでに課外

活動や卒業研究関連など5回投稿しています。

開設間もないこともあって現在のフォロワー数は本専攻の学生を中心に90人程度。今後は、受験希望者にまで情報が届くように、教職員の皆さんに本アカウントの周知をお願いします。投稿のネタも随時募集していますので、PT専攻学生が関わる活動の写真を撮影した方は、PT専攻まで連絡と共有をお願いいたします。（理学療法学専攻 宮崎宣丞）



KUMAHO_PT

理学療法学専攻が始めたInstagram上のQRコードから見る事ができます



慌てずに…突然の傷害、疾患に対応



胸骨圧迫と人工呼吸を協力して行う学生たち



AEDのパットの位置を確認しながら貼る学生

授業
拝見

看護学科3年生の授業「救急看護学」は、突然生じた傷害や急激な疾患の発症などに対応するための看護を学びます。選択科目ですが、今年度は全員が受講しています。

1月14日（水）の授業では、済生会熊本病院に所属する3人の現役看護師（本学卒業生）から心臓マッサージやAEDの使用方法などの一次救命措置について、講義と演習を通して教わりました。

心臓マッサージやAEDの使用法について実践的に学ぶ演習では、患者役の人物に「大丈夫ですか」と声をかけ、呼吸の有無を確認。呼吸がなく、頸動脈が触れないことを確認すると、1分間に100～120回のペースで胸骨を圧迫します。学生同士で力の強さや声のかけ方を確認し合い、協力して演習を進めていました。

また人工呼吸の道具を使用する場面では、マスクから空気が漏れて肺に空気が入らず苦戦する場面もありましたが、落ち着いた様子で気道を確保し、マスクを密着させて対処する様子も見られました。

（NL編集部）

卒業生2人も参加 後輩に向け貴重な体験談 申SGクリスマス会

申敏哲教授（理学療法学専攻）が担当するスモールグループ（SG）は12月25日（木）、2号館5階ラウンジでクリスマス会を催しました。卒業生の2人も参加し、チヂミやたこ焼きを囲みながら、終始和やかな雰囲気の中で親交を深めました。

平成24年度と28年度卒の2人の先輩からは、学部生時代の勉強の工夫や国家試験に向けた具体的な準備方法、さらには、社会人となって「学生時代にもっと勉強を頑張っておけばよかった」という率直な「反省」の弁も聞くことができました。また、「社会人になってから大学生に戻りたいと思うことがある」「学生のうちに、しっかり遊び、しっかり勉強してほしい」といった言葉は、在学生にとって印象深いアドバイスとなったようです。

特に4年生にとっては、国家試験準備に関する実体験に基づいた具体的な話を直接聞く貴重な機

会となり、「今後の勉強に非常に役立つ内容だった」との声が聞かれました。今後、申SGでは卒業生と在学生が継続的に交流できる「総申SG運動会」の開催を予定しています。（NL編集部）



終始和気あいあいな雰囲気だった申SGのクリスマス会

インフォメーション

週間行事予定（1月26日～2月2日）

～1/30（金）

後期定期試験 ※30日は予備日